

**指導者のための情報紙**

**アポーリ・ともだち仲間たち**

No. 14

URL : <http://www.japan-sports.or.jp/saitamaken>

発行：財団法人 埼玉県体育協会 埼玉県スポーツ少年団 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-14-1 埼玉県自治会館3F

彩の国



2月11日(日)、24回目を迎えた埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会が、朝霞市陸上競技場および周辺をコースとして、県内各地より男子53チーム、女子38チームが参加して盛大に開催されました。

埼玉県スポーツ少年団に登録されている野球、サッカー、剣道、バレー、ミニバスケットなど12の種目でそれぞれ大会が開催されていますが、この大会は13番目の種目として開催しています。

参加は1チーム6人で、マラソンクラブなど陸上競技主体のチームのほか、普段はミニバスケットやサッカー、野球などの種目で活動している団員たち

が参加しています。

この大会はロードレースですが、一般道路はできるだけ使用せず公園内の道路や自転車道路などを利用し、交通の安全を図るだけでなく、中継所を陸上競技場内の1カ所とし、少ない役員で大会の運営を行っています。

第1走者はスタートしてトラックを1周し競技場外に出て、公園内の道路を走りふたたび競技場に戻り、次の走者にタスキをつなぎます。第2走者から第5走者まで繰り返し、アンカーの第6走者は競技場内に戻ってトラックを回ってゴールします。

この情報紙は各単位団へ3部配布しています。指導者・母集団に回覧しましょう。



競技は女子の部と男子の部に分けてスタートさせることで、スタート時の混雑や選手の安全を確保しています。

スタートして緊張からか体調がおもわしくない選手がいましたが、みんなの応援により無事走り次の走者にタスキをわたし、参加全チームが完走しました。結果は以下のとおりです。

#### <男子の部>

1位 戸塚フットボールクラブジュニア

2位 レツアサカサッカースポーツ少年団

3位 若松キッカーズスポーツ少年団

4位 ジュベニール白岡

5位 あずまライオンズ

6位 東松山南サッカースポーツ少年団

7位 中山スポーツ少年団

8位 ファイトマラソンクラブ

#### <女子の部>

1位 ファイトマラソンクラブ

2位 東川口女子ミニバスケット

3位 大和田ミニバスケットボールスポーツ少年団

4位 新座新開スポーツ少年団

5位 柏葉ミニバスケットボールスポーツ少年団

6位 朝霞台ユニオンズ

7位 越生エンドレスミニバスケット

8位 石神スポーツ少年団

#### <区間賞 男子>

1区：勝谷徳仁（浦和パワーズスポーツ少年団）、

2区：福島涼太（あずまライオンズ）、3区：鈴木

靖之（戸塚フットボールクラブジュニア）、4区：

山崎航太（中山スポーツ少年団）、5区：八鍬優貴

（若松キッカーズ）、6区：奥成賢太（戸塚フットボ

ールクラブジュニア）

#### <区間賞 女子>

1区：葛貫彩乃（ファイトマラソン）、2区：清水

沙紀（ファイトマラソン）、3区：吉村香穂（ファ

イトマラソン）、4区：飯塚歩夢（柏葉ミニバス）、

5区：谷田祐夏（石神スポーツ少年団）、6区：神

田萌子（新座新開スポーツ少年団）

## 平成18年度埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修会

平成19年1月27日（土）～28日（日）

栃木県 鬼怒川温泉「ホテルニュー岡部」にて開催

平成18年度埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修会が、県内各地から約280名の参加を得て1月27・28の2日間にわたって栃木県・鬼怒川温泉「ホテルニュー岡部」にて開催されました。

初日、午後2時より全体会が始まり、藤沼本部長のあいさつの後、事務局からスポーツ少年団の登録状況の報告がありました。登録団数は微増だが登録団員数は減少しているとの報告があり、少子化だけではない、その他の原因があるのではないかとの話がありました。続いて行われた専門委員会からの報告は、次のとおりです。

### 1. 事業委員会

・種目別大会における指導者は資格保有者であるこ

との義務化規定の検討。

- ・大会運営費、活動費の適正配分の検討。
- ・関東ブロック競技別交流大会埼玉県大会開催について準備進捗状況の報告。

### 2. 指導者委員会

- ・育成指導員講習会の18年度開催状況および19年度の準備報告。
- ・体力テスト判定員養成講習会を19年度は指導者委員会で運営・開催する（期日は未定）。

### 3. リーダー育成委員会

- ・平成18年度ジュニアリーダー・スクール参加状況（昨年、一昨年より倍増）。
- ・リーダー育成のためのアンケート調査考察。

### 4. 育成広報委員会

- ・埼玉県スポーツ少年団表彰の準備、当日の運営、進行を行った。
- ・指導者のための情報紙「スポーツともだち仲間たち」の発行。
- ・総合型地域スポーツクラブとスポーツ少年団との関わりの研究・協議。
- ・母集団の育成に関すること。

### 5. 指導者協議会

- ・認定員の再研修に関すること。



\*

今年度は新たな試みとして「単位団における団員増加策」の実例の紹介が行われました。

・子どもが少年団に入りやすくするために、親の負担を軽くするため当番をなくしたり、地域、学校に認められる活動を行った（草加高砂イレブン 佐々木一吉氏）

・団員が「いじめ問題」その他の理由で退団して、スポーツ少年団として存続できない状態になったが、他種目の団の指導者や学校に相談し「バレー ボール教室」を開いたり、地域で地道に活動したところ、口コミで入団者が増えた（久喜ペガサスバレー ボール 有井典男氏）

この後、各分科会に分かれ19年度の活動予定等の打ち合わせが行われました。

2日目は全体会で「ジュニア期のスポーツと栄養」と題し、早稲田大学樋口満研究室の金子香織氏より講演をいただきました。

- ・炭水化物を含む食品を食べる
- ・消化にいいものを食べる
- ・ビタミン類もきちんととる

朝食をきちんととりバランスのよい食事をする、試合中の水分補給、試合中バナナ、ゼリーオレンジジュース、試合後30分後にはエネルギーの補給などを、わかりやすく講演していただき、基本的なことを改めて認識することができました。

## 平成19年度種目別大会計画

### ■ ■ ■ 軟式野球 ■ ■ ■

第26回夏季小学生軟式野球交流大会

6月9・16・17日 春日部市

第32回小学生軟式野球交流大会

10月21・28日・11月3日  
県営大宮・第二公園・吉見町

第30回中学生軟式野球交流大会

8月5・11・12日 本庄市

第3回女子団員交流大会

11月23日 吉見運動公園

### ■ ■ ■ サッカー ■ ■ ■

第36回埼玉県サッカー少年団中央大会

11月11・17・23日 埼玉スタジアム2002

### ■ ■ ■ ソフトボール ■ ■ ■

第30回ソフトボール中央大会

8月26日・9月2日 本庄市市民グラウンド

### ■ ■ ■ 空手道 ■ ■ ■

第23回空手道交流大会

9月16日 県立武道館

### ■ ■ ■ バレー ボール ■ ■ ■

第26回関東ブロックスポーツ少年団

バレー ボール大会埼玉県大会決勝

7月1・2日 川越運動公園総合体育館・所沢市民体育館

第2回キッズ交流大会

8月4・5日 熊谷スポーツ文化公園体育館

第4回埼玉県スポーツ少年団中学生交流大会

8月26日 熊谷スポーツ文化公園体育館

第5回全国スポーツ少年団バレー ボール交流大会

埼玉県決勝大会

1月12・13日 さいたま市記念総合体育館

### ■ ■ ■ バスケットボール ■ ■ ■

第26回ミニバスケットボール交流大会

7月7・8日 さいたま市記念総合体育館・岩槻文化公園体育館

第8回ジュニアリーダーバスケットボール大会

8月5日 さいたま市記念総合体育館

埼玉県フレッシュミニバスケットボール大会

7月14日～22日 県内各地区

### ■ ■ ■ 柔道 ■ ■ ■

第29回埼玉県スポーツ少年団柔道親善大会

8月26日 県立武道館

### ■ ■ ■ 複合 ■ ■ ■

第27回複合種目小川げんきプラザ大会

9月1日 小川げんきプラザ

### ■ ■ ■ ソフトテニス ■ ■ ■

第28回埼玉県スポーツ少年団ソフトテニス交流大会

(小学生) 8月25日

熊谷市彩の国熊谷ドーム多目的運動場

(中学生) 8月18日

熊谷市運動公園テニスコート

### ■ ■ ■ バドミントン ■ ■ ■

第26回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会

(団体戦)

12月8日 久喜市総合体育館

第14回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会  
(ダブルス)

3月1日 蓼田市総合体育館

### ■ ■ ■ 剣道 ■ ■ ■

第31回埼玉県スポーツ少年団剣道交流大会

8月 北部地区

第30回全国スポーツ少年団剣道交流大会選手選考会  
12月 越谷市

### ■ ■ ■ 駅伝 ■ ■ ■

第25回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会

2月11日 朝霞市陸上競技場

## 平成18年度埼玉県スポーツ少年団 ブロック本部長会議報告

昨年11月に開催された埼玉県スポーツ少年団ブロック本部長会議で出された諸問題を紹介します。

### 団員増加策 主な取組み

▶登録指導者の自宅にステッカーを貼り、団員の申込や問合せ先を明確にする…(南) ▶市体協広報誌(年3回発刊)に募集を掲載…(南) ▶各学校(教育委員会)に協力してもらい児童へ募集のチラシを

東部 久喜市 久喜市中央公民館

11月19日(日) 1700~ 9市7町 24名

西部 飯能市 飯能市役所

11月10日(金) 1700~ 6市4町 17名

南部 上尾市 ベルランジュ上尾

11月18日(土) 1700~ 10市1町 15名

北部 熊谷市 ホテルサンルート上尾

11月26日(日) 1700~ 3市3町 11名

配布している…(南・西) ▶市内ケーブルテレビを活用しスポーツ少年団のPR…(北) ▶各種大会への市(行政)関係者へ出席をしてもらい活動のPRをしている…(北) ▶教育委員会に協力を依頼し、親の意識をアンケート調査を実施…(東) ▶市体協主催事業への参加。ここでスポーツ少年団の活動をPRすることにより、団員の増加につながっている…(南) ▶市内全団参加によるスポーツ大会(団員以外の子どもの参加有)の実施。これも団員増加につながっている…(南) ▶各団で検討・実施。(東) ▶母集団で増加策を検討・実施…(南・東)

### 団員増加への展望

▶母集団研修会などで団員の増加策を思案している。課題としては出席者以外への伝達方法等が考えられる…(東) ▶小学校が1校増設されたので、今後団員の増加に期待が持てる…(南) ▶町内の住宅

## 第33回 日独スポーツ少年団同時交流 引率記

関東Ⅱグループ 野口英夫

引率指導者として、第33回日独同時交流に参加しました。期待と多少の不安をもちながら、全国のリーダー77名と23日間ドイツで行動し、楽しく交流ができるだろうか? よし、いつものとおり自然体で接すればなんとかなるだろうと思いました。

### 私の呼び名はグランパ

関東Ⅱグループのリーダー7名(男4名、女3名)、みんな選ばれて参加したリーダーなので心配することもなく、各人の個性は、それはそれとして若者の魅力を感じました。みんながグランパ(私の呼び名)にやさしく接してくれて、日々楽しく楽しく過ごすことができました。

地元プログラムで「ハンブルグ」に17日間滞在し、銀座かパリにいる様な生活をしていました。ハンブルグでは私たちが受け入れを実施したときとは様子が異なり、1人の受け入れ責任者(クリストフ)が、毎日プログラムにつき合ってくれました。本当に感謝感謝でした。

それに通訳さん(アニア)がひじょうに素晴らしい、



リーダーと接してくれて助かりました。私が夕方、「どうぞ先に戻ってください」と言っても「私も楽しいから」と言って、リーダーにつき合ってくれました。ドイツの大学在学中に同志社大学に留学経験のある人で、英語、仏語、日本語が話せて、漢字などは日本の若者に学ばせたいくらいです。

### 公園でもスポーツを

私が知りたかったスポーツクラブですが、低学年は半日制で午後1時頃帰宅し、4時半頃までには帰宅する親と、スポーツクラブでスポーツを楽しむということですが、それは3分の1くらいで、3分の2くらいは公園でのスポーツ等を楽しんでいます。

スポーツに行かない子どもはスポーツが嫌いなわけではなく、クラブの年会費200ユーロくらいが負担しにくい家庭もあるそうです。

ハンブルグでは今年度から、クラブに行けない子どものために、午後4時まで学校に滞在し、ボランティアや指導員がスポーツを教える制度がスタートしています。

スポーツクラブへ行き体育館の様子を見ると、トランポリン、自転車、竹馬等多種目を少年、少女が楽しんでいて、しかもインストラクター(ボランティア)が6~7人一緒にプレーしていました。

増。児童は増加傾向…（東）

### 団員減少（実情）

▶ サッカーの4種登録との関係から今年度、団員が激減…（東）▶ 少子化の影響で、児童数が減少。かつては100人以上の団が消滅…（西）▶ 少子化による児童数の減少…（東）▶ 団員はピーク時と比べると半減。現在対策を検討中…（東）▶ 女子団員が少ない…（南）

### 指導者に関する事項

▶ 指導者はここ数年、養成講習を開催しているので、有資格指導者が増加傾向にある…（南）▶ 認定員講習を数年来実施しているが、参加者は増加傾向にある…（南）▶ 市内の人口増で指導者・団員ともに増加傾向…（南）▶ 町内の人口が増加しているので、今後団員・指導者共に増加するのではと期待している…（北）▶ 団員減、指導者増。特に若い指導者が増加…（東）

### 指導者に関する事項（課題）

▶ 指導者の資質向上のための研修会、合併後指導者

ある日、夕食後みんなで公園に行き、翌日の打ち合わせを終え、それぞれホームステイ先に帰ろうと思った9時頃、子どもたちと親とが来てサッカーを始めました。ハングルグは夜の公園でもスポーツを楽しめる環境が整っています。これではドイツにかなわないと実感しました。

### ドイツでの生活

私たち4名はホームステイ、4名は同一宿舎で、ハングルグサッカー・クラブハウスに4泊、研修センターに12泊しました。

クラブハウスでは食堂で水と思ったらビールが出てくるし、部屋は広いし快適でした。リーダーも1部屋ずつ与えられたのですが、1部屋で寝ていました。研修センターは私たちの「ふる里」になりました。4人部屋が4室でしたが、リーダーはクラブハウスと同様でした。

その日のプログラムが終了し、シャワー後の反省会



数・団数は増加したが、参加者激減…（北）▶ 指導者の意識改革が必要な時期…（北）▶ 指導者の訴訟問題等、具体例があれば聞きたい…（東）

### 特色ある市町村本部事業

▶ 本部事業として駅伝競走・ドッジボールの本部長杯を開催している…（南）▶ 市内全団を対象に運動適性テストを開催。テスト終了後、隔年で交通安全指導・レク大会等、父兄が一緒に参加できるものを実施している…（南）▶ 福祉活動として、赤い羽根募金の実施…（南）▶ 駅伝競走大会の実施…（南）▶ 市本部事業（体力テスト）を実施する際、普段使用している会場の清掃活動…（南）▶ 駅前、グラウンド等の清掃活動…（南）▶ 今年度25回目を迎えた町本部事業、「親子レク大会」は毎年大盛況…（北）

### スポーツ少年団普及活動

▶ 市内の野球・バスケット・バドミントン・武道等の少年団への登録促進…（東）▶ 種目別部会の増加計画…（東）▶ 武道の登録を模索している…（東）

は日課となり、ホームステイ先の仲間も集まり、全員で毎晩そのベランダへ集合「チュウス」で帰ります。

ベランダ会議とは別に真面目にテーマに沿った課題についてディスカッションをしました。

ドイツでは18歳未満の子ども（10歳～）も政党に入り、イベントの手伝い、パンフレットの配布等の活動をし、早期に政治に関心をもたせるということで、入党する子どももいます。ボランティア制度はドイツは素晴らしい国だと感じました。

### ハブニングもあったけど…

ハングルグ市庁舎を議員夫妻の案内で見学させていただいたり、20人乗りのカヌーでは雷雨になり橋の下で待機したり、野外博物館ではドイツの昔を勉強し、強制収容所では涙を流し、パリエット海では海水浴を楽しみ、魚市場ではあまりの広さに驚いたり…。

研修所では同宿のヨーロッパの卓球ジュニア育成選手（ドイツ、フランス、スイス、イスラエル、アイルランド）と親しくなり練習を見学し、バッヂをプレゼントしたら喜ばれました。

ハブニングもいちどありました。7月30日、ハングルグ市内で自転車競走（170km）見学後、女子リーダーのポシェットから、パスポートと財布が抜き取られました。早く気がつき3人～5人組の犯人から、リーダーと協力して無事取り戻しました。

この件だけが残念でしたが、素晴らしいリーダーとドイツの友人と過ごせたことは、私のスポーツ少年団活動29年間で一番の想い出となるだろうと感謝しています。ダンケシェーン

## 合併に関する事項

- ▶ 合併後、既存の事業にお互い参加している…(北)
- ▶ 近隣の市町村が合併した関係から交流大会等実施できないものがでてきた…(北) ▶ 合併を機に、構成人数の少ない単位団同士の合併を実現した…(北)
- ▶ 合併し、既存の事業をそのまま展開している。今後これらの事業をどうまとめていくかが課題…(北)
- ▶ 合併後、団員が減少…(北)

## リーダー関係

- ▶ 中学生団員、増加…(東) ▶ 今年度より中学生の登録が出てきている…(南) ▶ リーダーを極力、市本部事業で活用している…(南)

## リーダー養成への課題

- ▶ リーダー会の活性化…(東) ▶ 中学生の登録が増加傾向にあるのでリーダーの養成を考えているが、部活動の関係や、市内が広いので様々な問題がある…(南) ▶ リーダーの県行事参加者激減…(東) ▶ 中学生団員が増加している。(全体の1割)しかし、高校に入ると部活動等の問題で激減してしまうため、リーダー不足が生じている…(南) ▶ 中学校へ進学後、部活動(種目)が無い。中学生団の作り方を研究したい…(西) ▶ 種目の枠を超えた中学生の活動例を知りたい(部活動等の兼ね合い)…

(西) ▶ 中学生以降の活動を検討中…(東)

## 各種課題(諸問題)等

- ▶ 市内クラブチームに少年団加入を勧めるが「父兄の手伝いがある」との理由で断られる。対策を現在検討中…(東) ▶ 特色ある単位団が、指導者が活動できなくなり、休部。現在、後任指導者を発掘中…(南) ▶ 特にサッカーで新規登録を希望している単位団、本来のスポ少の在り方と相違がある…(西・北) ▶ サッカーの登録問題…(東) ▶ 野球(クラブ)が少年団登録する事へのメリット…(東) ▶ リーダー会の活性化…(東) ▶ 対外試合等での事故対策…(東) ▶ 役員の高齢化…(東) ▶ 単位団指導者は増加しているが、本部役員(指導者)が減少している。現在、対策を検討中…(東) ▶ 現在、市内各地で工事のため、会場確保が困難…(南) ▶ 事務局体制(行政or民間)(本部長が行政か民間か)…(西) ▶ 町の財政難により、事務局を教育委員会から民間に3年を目途に移す…(東) ▶ 補助金が年々減少しているので、企業によるサポート制度を検討…(東) ▶ 補助金が0。来年度以降の町本部事業検討中…(東) ▶ 研修会の充実を専門委員会で検討・実施…(南) ▶ 指導者・母集団との意見相違により、1団消滅…(東)

## 平成18年度 種目別交流大会 主な結果

### 第35回埼玉県サッカー少年団大会

11月25日(土)さいたまスタジアム第2、第3グラウンドで準決勝、決勝戦が行われ、新座片山FC少年団が優勝しました。

#### ▶ 準決勝

道祖土(さいたま市) 0-1 すみれJrFC(本庄市)  
浦和尾間木(さいたま市) 0-1 新座片山(新座市)

#### ▶ 決勝戦

すみれJrFC(本庄市) 0-3 新座片山(新座市)  
\*

9月から各地区で始まった予選を勝ち抜いて中央大会出場を決めた32チームは次のとおり。

<東部>大増サンライズ、行田泉、久喜キッカーズ、越谷FC Jr、南郷FC、松伏FC、彦成FC、ジュベニール白岡 <西部>川越福原SC、FC鶴ヶ島、加治、扇FC、川越ひまわり、武蔵野FC、鶴ヶ島栄FC、上福岡少年少女、FC片柳 <南部>与野大戸、道祖土、アズマFC、桶川レッド、FC宗岡、尾間木、北浦和、FC和光イレブン、南浦和、上尾双葉台、新座片山 <北部>すみれJr FC、江南南、熊谷東、神川パルフェ

### 第29回全国スポーツ少年団剣道交流大会選手選考会

12月10日(日)熊谷市スポーツ文化公園熊谷ドームで第29回全国スポーツ少年団剣道交流大会選手選考会が開催されました。

団体戦、個人戦とも優勝者は3月25日から岡山県で開催される全国スポーツ少年団剣道交流大会に出場します。

#### ▶ 団体戦

優勝 荒川剣道スポーツ少年団(秩父市)  
準優勝 小鹿野剣友会スポーツ少年団(小鹿野町)

#### ▶ 個人戦

中学生男子 優勝

阿部 晋也(修心館剣道スポーツ少年団・長瀬町)  
中学生女子 優勝

濱中 沙貴(荒川剣道スポーツ少年団・秩父市)





## 総合型地域スポーツクラブをつくる (3)運営(資金・情報)

前号では、総合型地域スポーツクラブ（以下総合型クラブ）の運営（人・物）について説明してきました。今回は、前回に続いて総合型クラブの運営（資金・情報）について説明していきます。

はじめに、総合型クラブを運営するにあたっての多様な資金源を以下に挙げていきます。

- ① 会費（会員などよりサービスの対価として支払われる資金）
- ② 寄付金（クラブの主旨や活動内容に共感して提供される資金）
- ③ 事業収入（本来活動以外の催し物や物品販売などの事業から得る資金）
- ④ 助成金・補助金（民間団体や行政機関などから活動を支援するために提供される資金）

以上のような多様な財源を持つことは、特定の資金が無くなったときの活動停止を防ぐと共に、リスクを分散するという観点からも、総合型クラブにとって必要な収入構造となります。

総合型クラブの会費については、会員から会費を徴収します。しかし、総合型クラブは、決して高い会費設定をしなくてはならないということではありません。そのクラブの規模に見合った会費設定をすることが大切です。

以下は、実際に総合型クラブで行われた会費以外の特徴ある資金調達の例です。

- ・会員で栽培した野菜を販売してクラブの活動費に充てた。
- ・地域の名産品をクラブで販売してクラブの活動費に充てた。
- ・ユニフォーム等に企業や商店のロゴマークを入れて協賛金を獲得した。
- ・100社以上の地元企業や商店から賛助金を獲得した。
- ・まちの福祉課が行っていた介護予防教室をクラブで受託して、教室を開催した。
- ・クラブハウスにて、学習塾を経営した。

上記以外にも全国のクラブでは、様々なアイデアをもって資金調達に取り組んでいる例がたくさんあります。

その他、総合型クラブが、多くの資金源を調達する理由の一つには、クラブの規模が関係しています。

小規模なクラブであれば、運営をボランティアに頼り、会費のみでなんとか運営をすることも可能かもしれません、クラブが大規模になった場合には、会員管理や事務作業等の負担が発生するため、ボランティアのみでの運営には限界が生じてきます。そのためには、多様な資金を得て、人件費等の運営費を確保していくことも考えられます。

次に経営資源の「情報」について説明していきます。情報には、例えば人材に関する情報、資金に関する情報、施設に関する情報、経営ノウハウ等、クラブ運営に役立つ様々なものがあります。

的確な情報を得ることで、それらをクラブの運営に活かすことができれば、継続したクラブ運営につなげていくことができます。

インターネットが普及した現代では、様々な情報が行き交っています。また、クラブには、これら多くの情報を取捨選択する能力も必要とされてきています。

以上、前回から経営資源である「人」「物」「資金」「情報」について説明をさせていただきました。これらの経営資源を獲得していくためには、一人の力に頼るのでなく、クラブ関係者の力を合わせて取り組んでいくことが大切です。また、クラブにとって必要な経営資源を得るための計画を明確に目標設定することも必要となります。

\*

これまでに、3回のシリーズにわたって「総合型地域スポーツクラブをつくる」について説明をさせていただきました。これらの内容から、何か一つでも今後の地域スポーツ発展のための参考となれば幸いです。

(問い合わせ先 財団法人埼玉県体育協会 048-822-5171 担当 加藤・舟木まで)

財団法人埼玉県体育協会  
クラブ育成アドバイザー 加藤 裕之

**まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役**

## 県スポ少表彰式

平成18年度埼玉県スポーツ少年団表彰式が、12月9日さいたま市浦和区の県民健康センターで、関係者約90人が出席して開催されました(写真)。

今年度は表彰規程が制定され3回目の表彰で、94人(当日の出席者は61人)の方が受賞されました(受賞者氏名は本紙No.13に掲載)。

藤沼本部長の「今後も指導者として、スポーツ少年団発展のために頑張っていただきたい」とのあいさつのあと、東西南北各地区の代表に賞状(盾)が手渡され、受賞者を代表してさいたま市の清水晴雄氏が謝辞を述べられました。



## スポーツ安全保険

### —手続き方法が変わります—

スポーツ安全協会埼玉県支部では、長らく「埼玉りそな銀行」を指定銀行として掛け金振り込みのご協力をいただきましたが、平成19年度より郵便局窓口での払い込みに変更することになりました。

#### 【手続きの流れ】

- 加入依頼書の最終ページに付帯している払い込み取扱票を使用し、郵便局窓口で掛け金の払い込みを行ってください。
- 加入依頼書に必要事項を記入して、払い込みを行った当日に、加入依頼書②に「郵便振替払込受付証明証」を貼付してから、加入依頼書①②を添付の封筒にてスポーツ安全協会埼玉県支部まで、切手を貼って郵送してください。
- 加入依頼書③(代表者控)に払い込み金受領書を貼付けのうえ大切に保管してください。

\*

今年度インターネットによる加入手続きを実験的に行うこととなりました。詳しくは、代表者あてに送られる資料をご覧いただくか、財団法人スポーツ安全協会埼玉県支部(TEL:048-830-6958)までお問い合わせください。

## 八潮市スポ少で指導者講習会

八潮市スポーツ少年団(本部長:伊藤勇)では平成18年度八潮市スポーツ少年団後期指導者講習会を2月24日(土)、八潮市文化スポーツセンターで開催しました。

この講習会は、指導者の資質の向上と情報交換を目的に、主として認定員資格保持者を対象に年2回行っているものです。

今回は、県育成広報委員・宮代町スポーツ少年団副本部長の速水友益氏に講師をお願いし、魅力あるスポーツ少年団=魅力ある指導者ということで、良い事例、悪い事例を織り交ぜての講演に、参加指導者約70名が気持ちを新たにしました。

## 育成広報委員会からのお知らせ

### 総合型クラブを理解するための Q&A方式の資料を作成中

「総合型地域スポーツクラブ」については、国や県並びに各地域のスポーツ少年団からさまざまな情報が大変多く発信されています。

そうした中で、県本部育成広報委員会では、指導者の皆さんから「スポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブとの関係をどのようにとらえればよいか、また、総合型クラブそのものに対する理解するための具体的な情報が不足している」などの意見を踏まえ、昨年からQ&A方式を中心とした資料の作成作業を行ってきました。

そして、このほど概要がまとまりましたので、本部委員会の了承を得た後、19年度に入ってから団をとおして指導者の皆さんへの配布を予定しています。

## 編集後記

朝霞市での駅伝競走大会の写真撮影の帰り、車のエンジンがかからず! JAFのロードサービスのお世話に…。車も身体も手入れを忘れずに!

埼玉県スポーツ少年団事務局気付「育成広報委員会」

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-14-1 埼玉県自治会館内

TEL: 048-822-5171 FAX: 048-822-5174

E-mail: saita.maken@japan-sports.or.jp